

笑い声が空まで届く日

御代田スポーツ フェスティバル

2025年 **10月5日(日)** 午前9時開会式
午後2時ごろ閉会式

B&G海洋センター 芝生広場、
屋内ゲートボール場 他

町民大運動会に替わる新しいイベントです

がんばれ!!

ミニ運動会

芝生広場

9:45~ ◆くつ飛ばし

10:10~ ◆小中学生かけっこ

10:35~ ◆湯呑みリレー

11:00~ ◆パン食い競走

11:25~ ◆防災段ボールベッド組み立て
タイムトライアル

13:00~ ◆未就学児風車拾い

13:30~ ◆〇×クイズ 景品あります!お楽しみに!

自由参加! 出場したい種目の時間に
集合して参加できます



※ポッチャ、モルックの大会参加申込はB&G海洋センターの町指定申込書、または上記QRコードから提出してください **申込締め切り 9月15日(月・祝)**

ポッチャ大会

B&G体育館 9:30~

事前申込制

1チーム3人で競技
登録は6名まで可能
年齢性別不問、町内在住、在勤、その家族



モルック大会

屋内ゲートボール場 9:30~

事前申込制

1チーム2~4人で競技
登録は4名まで可能
年齢性別不問、町内在住、在勤、その家族



また、父親は晩年、自分のことができなくなっていたので、1週間のうち土日は東京に住む姉と、ショートステイを2日、それ以外の隙間を萩原さんが泊まり込みという形で周りに手伝ってもらいながら介護をしたそうです。自分の都合どおりにいかないというストレスがありながらも事業所や地域包括支援センターに相談して、助けてもらったおかげで、乗り越えられたと振り返ります。

両親の介護について、「不思議と嫌な思い出はない。楽しかった。」と笑顔で話していました。

また、「忙しかったのが逆に良かったと思う。父親の介護はいろいろな忙しい中の一部だった。これが介護だけにどっぴりはまってしまうと、考えるのがそのことなので相当疲れてしまうと思う」他にやることがあった方がいいと思う」と語ってくれました。

周りの協力と自分の時間



【読者へのメッセージ】

「介護をしている方は自分だけで抱え込まないでほしい。利用できるものは全部利用してほしい。そして、何が利用できるかまず自分が勉強することが大事。そのために包括や社協があるから相談に行ってみよう。介護が大変なのは当たり前で、大変じゃない人はいない。今介護していない人や若い人も、自分には関係ないと思わず早いうちから認知症のことを知っておいてほしい。絶対にどこかで役に立つので。知っておくというのは本当に大事」

最終笑顔で明るく話をしてくださいました。

問い合わせ先
保健福祉課地域包括支援係(地域包括支援センター)
(31)2510

認知症月間
9月は認知症月間です。町では町民ホールの一部を利用し、9月8日(月)~9月末まで認知症に関する町の取り組みなどを展示します。役場にお越しの際はぜひ立ち寄ってみてください。



オレンジスマイル
町では、認知症の本人やその家族、地域の住民が交流する場として月1回オレンジスマイルを開催しています。どなたでもご参加いただけますので、興味のある方はお問い合わせください。

